

- つくれの上やそのまわりなど、自分が学習する場所をきちんと片付けましょう。
- 学習を始める前にテレビなどを消しましょう。
- まず、はじめに宿題からしましょう。



さあ、こんな学習をしてみよう。 「⇒」の文章はおうちの方へ向けたものです。

こくご

国語

＜ひらがな・カタカナ・漢字などの練習＞

- 教科書やお手本の字の形をよく見て、正しく書けるように練習しましょう。
- 鉛筆の持ち方や姿勢に気をつけて、書きましょう。
- 教科書や好きな本にのっている文を、ノートに書き写しましょう。
- 「、」「。」「一字下げ」に気を付けて、写しましょう。



＜音読＞

- 声に出して教科書を、読みましょう。
- 句読点（「、」や「。」）に気をつけて、すらすら読めるように練習しましょう。
- 毎日続けて、おぼえるくらい読みましょう。

＜作文・日記＞

- 楽しかったことやおもしろかったことなどを、自分のことばで文に書きましょう。絵をかいたり、絵日記にしたり、手紙にしたりするのもいいですね。いろいろな書き方をしてみましょう。
- ⇒ 書いた字や書き順を見てあげたり、音読を聞いてあげたり、日記などの感想を言ってあげたりするといいですね。

さんすう

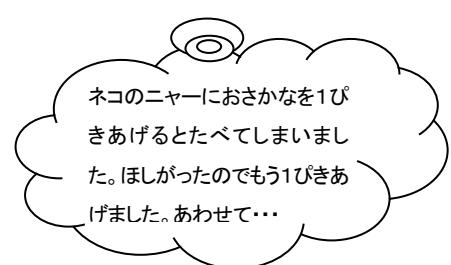
算数

＜計算練習＞

- たし算やひき算が正しくできるように、計算カードなどで何度も繰り返して、練習しましょう。間違った問題は、答えが合うまでやり直しましょう。
- 最初は、スピードよりも正しく計算できるように、計算の仕方を身に付けましょう。正しく計算できるようになったら、だんだん速くできるように練習しましょう。

＜問題づくり＞

- たし算やひき算のお話（問題）を作りましょう。身のまわりにあるものやお友達の名前を使うと楽しく作れますよ。
- ⇒一緒に買い物をしたり、時計をよんだり、問題に答えてあげたりするといいですね。



- 学校の図書室でいろいろな読み物をかりて、おうちで読みましょう。

⇒ おうちの方が読んであげたり、お子さんが読むのを聞いてあげたり、物語文なら役割を決めて一緒に読んだりするといいですね。

そのほか

- おうちの方と相談して、お手伝いを決めて、毎日続けてしましょう。
- 音楽の鍵盤ハーモニカを練習しよう。
- なわとびなどにも、挑戦しよう。
- 公園やおうちのまわりの木や草から、自分が気に入ったものを決めて、その木や草の葉のようすを見たり、春や夏でどんなふうに変わっていくか見たりしましょう。



おうちの方へ

⇒お子さんと一緒に読んでいただいて、話し合っていただくのもいいですね。

★ 学習の特徴は

- 「読み、書き、計算」などの基礎的な学習がはじまります。
- 低学年の学習の多くは、身のまわりの生活と結びついており、子どもたちは、具体物をつかって考えたり、繰り返し練習したりして、学習内容を自分のものにしていきます。

★ 学習習慣を身に付けさせるには

- 「早寝早起き朝ごはん」「朝の排便」などの基本的な生活習慣のリズムの中で、学習習慣が身に付いていきます。それぞれの家庭に合った生活リズムをつくりましょう。
- 家庭学習の第一歩は、毎日、「宿題をやりきること」と「明日の授業の準備を自分でする」ことです。はじめは、学校からの連絡やお便りを子どもと一緒に確かめる、学習時間を決めるなど、おうちの方の助けも必要です。

★ 認めてほめる

- この時期の子どもは、「もっと知りたい」、「もっとできるようになりたい」という気持ちでいっぱいです。できないことを叱るより、「しようとする気持ち」や「できるようになったこと」を「自分でやろうとするのはすてきだよ」「ここまでできたね」と認めてほめることで、子どもはさらにやる気になります。

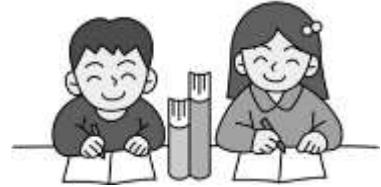


はじめよう自主学習！ 小学校3・4年生

学習時間のめやす 30~50分

- 自分が決めた時刻になつたら、すすんで学習しましょう。
- 学習を始める前に、学習する場所を片付け、テレビや音楽を消しましょう。
- 宿題をすませてから、自分の学習に取り組みましょう。

さあ、こんな学習をしてみよう。



国語

かんじ じれんしゅう

＜漢字・ローマ字練習など＞

- 漢字の形をよく見て、とめ、はね、はらいなどに気をつけて、正確に文字が書けるように練習しましょう。
- 書き順、読み、送り仮名や文字の組み立てにも注意しましょう。
- 生活の中で使われているローマ字を見つけましょう。
- 教科書や好きな本にのっている文章を、視写しましょう。

＜音読＞

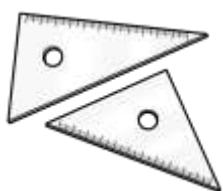
- 毎日、音読をする習慣を身に付けましょう。速さや間の取り方、声の大きさに気を付けて、気持ちや様子が表れるように声に出して読みましょう。会話文は、気持ちを考えて声に出して読みましょう。

＜作文・日記＞

- 自分が思ったこと、その目にあったことなどを、はじめ、中、おわりなど、文章の組み立てを考えて書きましょう。

＜国語辞典・漢字辞典を使う＞

- 教科書に出てきたわからない言葉や漢字を調べたり、その言葉や漢字を使って文章を作ったりしてみましょう。



算数

けいさんれんしゅう

＜計算練習＞

- 筆算は位をそろえて書き、手順を確かめながら計算しましょう。かけ算や割り算などの正しい計算の仕方が身に付くよう、繰り返し練習しましょう。
- 正しく計算できるようになったら、だんだん速くできるように練習しましょう。

＜問題づくり・身の回りの算数さがし＞

- 式を立ててから、文章の問題を作りましょう。身の回りの出来事を問題にしてみましょう。
- 習った図形の形を身の回りから見つけたり、時計を見て時間の計算をしたり、しましょう。

＜定規（ものさし）・コンパス・分度器を使う＞

- 三角定規や分度器、コンパスなどが正確に使えるように繰り返し練習しましょう。

社会

□ 地図に親しみましょう。地図記号や八方位をおぼえましょう。

□ 大阪市の周りの市町村や47都道府県の名前や位置など調べましょう。



旅行する気分になって、地図にのっている鉄道や道路をたどってみたり、おもしろい地名を探したりするのもいいですね。

理科

□ 公園やおうちのまわりなど場所を決めて、いろいろな植物やこん虫などを見つけましょう。季節の変化で、植物がどのように変わっていくか調べましょう。観察日記を書くのもいいですね。

読書

□ 物語、歴史や科学の本、スポーツの本など、いろいろな種類の本を読みましょう。読んだことをおうちの方に話したり、読んだ日付、本の題名、作者、簡単な一言感想を書いたりするのもいいですね。

その他

□ おうちの方と相談して、お手伝いを決めて、毎日続けてしましょう。

□ 音楽のリコーダーで習った曲の練習をしたり、なわとびなどに挑戦したりしましょう。

おうちの方へ

★ 学習の特徴は

● 社会や理科、総合的な学習の時間などの学習が始まります。国語辞典や地図帳などを使って自分で調べるといった学習も増えます。算数では、四則計算 (+、-、×、÷) の基礎・基本とともに、分数や小数など少しづつ抽象的な内容も学ぶようになります。

★ 自主的な学習習慣を身につけさせるには

● 学習をする前に、学習する場所の整理整頓を行い、自分から机に向かう姿勢と集中して取り組む習慣を付けさせることが重要です。

● 自分で今日の宿題を確認させ必ずやりきらせましょう。ただし、まだ、おうちの方が宿題や持ち物と一緒に確認するなどの手助けが必要です。徐々に自分でできるように支援していきましょう。

★ 繼続した声がけを

● 中学年の子どもたちは、学校生活にもずいぶん慣れ、自立心が芽生えてくるとともに、自分でできることも多くなってきます。その一方で、1・2年生で身に付いた学習習慣がくずれがちになったり、「急に勉強が難しくなった」といった苦手意識を持ったりする子どもも出てきます。

おうちの方のあたたかい助言や励ましの言葉が、子どもの自信ややる気をふくらませます。途中でなげださずにやつて「できた」「わかった」という喜びが、学習習慣を身に付けることにつながります。



- 遊ぶ時間帯と学習する時間帯とをはっきりと分けましょう。
- 机の上の整とんやテレビを消すなど、学習に集中できる環境にしましょう。
- 一週間くらいの学習計画を立てて、いろいろな教科の学習に挑戦しましょう。

さあ、こんな学習をしてみよう。



国語

- 新しく出てきた語句や漢字の意味は、辞書で確認しましょう。漢字の由来や意味が分かると覚えやすくなります。
- 漢字の構成や字形を意識して練習しましょう。習った漢字をもとに、自分で、漢字のテストを作って、やってみるのもいいですね。
- 情景や登場人物の気持ちなどが伝わるように、強弱、速さ、間の取り方を工夫して、声に出て、教科書を読みましょう。
- 詩や俳句、有名な文学の書き出しの部分などを暗唱したり、朗読したりしましょう。観察するのもいいですね。
- 俳句や短文づくりに取り組んだり、興味のあるニュースを見付けて意見文を書いたりしましょう。

算数

- 計算問題の答えあわせを、自分でできるようにしましょう。よく間違える計算は、手順や仕組みを確かめて、間違えた原因を確認する習慣をつけます。また、よく間違える計算は繰り返し練習しましょう。
- 分数や小数の計算では、答えが出るまで、途中の計算を書き残すようにすると、間違えた原因を自分で見つけることができます。正しくできるまで練習しましょう。
- 文章問題は、自分の考えを、図や式、言葉でも説明できるようにしましょう。
- 身の回りの<算数さがし>をしましょう。比例、割合、立体など、生活の中でたくさん使われています

社会

- テレビや新聞に出てきた国名や地名を地図でチェックしてみましょう。旅行する気分になって、世界の主要な大陸と海洋、主要な国の名称と位置などを調べるのもいいですね。
- 歴史上の人物や出来事、時代の特徴を調べたり、それらについて書いた本を読んだりしましょう。調べたり読んだりしたことを、年表や新聞、4コママンガにしてまとめるのもいいですね。
- スーパーなどで売っている野菜の産地を見て、地図帳で場所を確かめたり、生産高を確認したりしながら産業の様子を学習しましょう。

理科

- 自分でテーマを決めて、自由研究に取り組みましょう。学習したことを身の回りで探したり、魚や昆虫、植物の飼育・栽培をしたりして、調べたことを新聞やレポートにまとめてみるのもいいですね。

読書

- 物語、詩、古典、伝記、科学や芸術など、読書のジャンルを広げてみましょう。同じ作者の本、同じテーマの本などで読み比べをしてみましょう。

その他

- 宿題でわからないところは教科書やノートなどを見ながらあきらめずにがんばりましょう。また、学校での学習内容を振り返りながら、教科書やノートなどを参考にして、苦手な学習内容を復習したり、次の学習の予習をしたりするのもよいでしょう。
- これまでの学年の学習を見直してみましょう。例えば、算数では、小数や分数のかけ算とわり算を学びますが、これまでの整数の計算や文章題などで計算の意味や仕組みが理解できていると、意欲的に学習に取り組むことができます。
- 新聞記事やテレビニュースなどをおうちの方と話題にして、社会に目を向けましょう。
- 他の教科でも、学習した内容を生活の中で実践したり、生かしたりできるようにしましょう。
- お手伝いをしっかり続けましょう。



おうちの方へ

☆ 学習の特徴は

- 家庭科の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。5年生では小数のかけ算とわり算、分数の足し算、引き算、6年生では分数の通分、約分に加えて分数のかけ算、わり算も学習します。学習内容が多くなり、論理的な内容や抽象的な思考を伴う学習、ネットや図書などを使って調べる学習が増えます。
- 委員会活動、修学旅行などで協調性や責任感が一層求められるようになります。

☆ 自主的な学習習慣を身につけさせるには

- 自ら学ぶことのおもしろさや楽しさを経験することで、ものの見方や考え方を身に付けることができます。「歴史が好き」「計算は得意」などのように、得意な科目、好きな分野が見つかると勉強好きになるきっかけにもなります。興味関心をもったものに対してどんどん取り組ませるのもいいでしょう。
- 夜更かしなど、生活のリズムが乱れは、学習習慣にも影響を及ぼします。子ども達の放課後もずいぶん忙しくなります。もう一度生活習慣を見直し、自分に合った計画を立てて、学習を進めさせることが重要です。

☆ 子どもの学習をしている姿を見守り認める

- 高学年の子どもたちは、思春期を目の前にし、友人関係に悩んだり、劣等感を抱いたり、時には大人への反抗も見られるようになります。ちょっとした変化も見逃さずに見守ることが必要です。「やればできる」という気持ちを持たせ、子どもの自尊感情を育てるように、ほめたり励ましたりすることが大切です。

小学校から中学校へ

中学生になると、心身の発達に合わせて、学習面でも生活面など、すべてにわたって、自分で責任をもって決定することが今まで以上に必要となります。

そこで、小学1年生から、自主的に学習に取り組む姿勢を次第に身に付けさせることが大切です。特に、5・6年生では、自分の意思をはっきりともたせ、中学校で自主性を促されたときに、「何をしたらよいのか分からぬ」状態にならないように準備しておきましょう。